G7

はじめに

はじめに
ごあいさつ

財務・金融担当大臣

鈴木 俊一

G7新潟財務大臣・中央銀行総裁会議は、令和5年5月11日から13日の3日間にわたり開催されました。G7各国の財務大臣及び中央銀行総裁に加え、国際機関の長やパートナー国を招待した大規模な会議でしたが、開催地新潟の皆様方から温かい多大なご協力をいただき、これを成功裏に終えることができました。

今回の会議では、ウクライナへの支援を含む、ロシアによるウクライナに対する侵略戦争への対応や、金融セクターの動向、途上国の債務問題といった喫緊の課題、また、気候変動、国際保健、経済安全保障、金融デジタル化、国際課税等に係る世界経済の強靱化のための取り組みについて、幅広く議論を行いました。加えて、新たな試みとして、G7諸国とパートナー国との対話の場を設け、新興国・途上国の直面する課題や、持続可能で包摂的な成長のための国際協力の強化等について有意義な意見交換を行いました。また、ランチセミナーでは、所得・富の平等や持続可能性といった多様な価値を踏まえた経済政策の在り方について議論しました。こうした一連の議論の結果を共同声明として取りまとめ、多くの具体的な成果に合意することができたと考えています。

このような素晴らしい成果は、G7新潟財務大臣・中央銀行総裁会議開催推進協議会をはじめとする新潟県、新潟市やボランティアの皆様、警備を担当された新潟県警察及び第九管区海上保安本部の皆様等、多くの関係者の御協力なしには得られなかったものです。G7の大臣、そして中央銀行総裁の中には初めて新潟という名前を知ったという方もいらっしゃいましたが、新潟の食事やお酒、花火等のイベントを心から楽しんでいただくことができました。

改めて、皆様からの多大なる御支援と御協力に心から感謝を申し上げるとともに、新潟の今後益々の御発展を祈念しています。

日本銀行総裁

植田 和男

G7財務大臣・中央銀行総裁会議は、令和5年5月11日から13日の3日間にわたり新潟市で開催されました。鈴木財務大臣とともに、共同議長として会議を運営し、これを成功裏に終えることができたのも、皆様からの多大なる御支援と御協力なしには成し得なかったことと考えています。心から感謝申し上げます。

会議では、現在の世界経済が直面する様々な課題について、議論が行われました。例えば、ロシアによる戦争や世界的なインフレ圧力、金融システムを巡る動きなどを踏まえた世界経済の動向、その下でのマクロ経済政策のほか、気候変動やデジタル化への対応といった課題が議題に上りました。また、中央銀行によるセッションでは、インフレや経済金融情勢について、他の総裁方と膝を突き合わせ、同じく金融政策を担う立場から、率直かつ活発な議論を行うことができました。これらの議論を踏まえて、各国と一致した見解を共同声明に盛り込み、G7の結束を世界に示すことができたのは、大変意義深いことだと感じています。

日本海に注ぐ信濃川の雄大な景色を眺めつつ、会合に参加された各国・国際機関の代表者とともに、落ち着いた雰囲気の中で議論に集中し、素晴らしい成果を挙げることができました。また、海外の参加者からは、日本庭園や温泉、酒蔵等を巡るオプショナルツアーなどを通じて新潟の魅力とホスピタリティを体感できた、といった感謝の声も聞かれたところです。改めまして、G7新潟財務大臣・中央銀行総裁会議開催推進協議会をはじめとする、関係者の皆様の多大なご尽力に厚く御礼申し上げます。

はじめに

ごあいさつ

G7新潟財務大臣・中央銀行総裁会議開催推進協議会
最高顧問
新潟県知事

花角 英世

2023年G7サミットの関係閣僚会合であるG7新潟財務大臣・中央銀行総裁会議が、5月11日から13日までの3日間、本県の朱鷺メッセで開催されました。北東アジア地域など対岸諸国との交流の拠点としての歴史、文化を持つ新潟の地に、財務大臣や中央銀行総裁をはじめとする各国代表団や国内外のメディア関係者がお集まりになり、注目度が高い会合が開催されたことは非常に意義深いものと考えております。

会議では、金融システムの安定化やサプライチェーンの強化、ロシアによるウクライナ侵攻への対応など、世界経済が直面する喫緊かつ重要な課題について幅広く議論が行われ、その成果が共同声明という後世に残る形で発信されたことは、開催地として大変喜ばしいものと考えております。

新潟は、海や山などの豊かな自然に囲まれ、四季の変化がはっきりとしており、「黄金（こがね）」と「白銀（しろがね）」に輝く稲穂や雪、米等の上質な資源に恵まれています。世界に誇れる新潟の魅力の一つとして、こうした地域資源や先人の知恵に育まれた食文化の豊かさが挙げられます。会議関係者の方々には、歓迎行事などを通じて県産食材を使用した料理や新潟清酒等の新潟の「食」をはじめ、世界文化遺産登録を目指す佐渡島の金山、本県発祥の錦鯉、豊かな花火文化、ものづくり技術など様々な新潟の魅力を紹介させていただきました。参加者の皆様には、これらのおもてなしに大変喜んでいただき、新潟の魅力の一端を実感いただけたものと思います。

今回のG7新潟財務大臣・中央銀行総裁会議の成功により、また一つ新潟の国際会議開催の実績を重ねることができました。これらの経験を今後の更なるハイレベル国際コンベンションの誘致につなげ、新潟の魅力を国内外に発信していくことにより、本県の交流人口拡大や経済活性化を図ってまいりたいと考えております。

最後に、会議開催に際しての財務省及び日本銀行の方々のご尽力に敬意を表するとともに、協議会構成団体をはじめとした関係者、県民の皆様の多大なるご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。

G7新潟財務大臣・中央銀行総裁会議開催推進協議会
会長
新潟市長

中原 八一

G7新潟財務大臣・中央銀行総裁会議が5月11日から3日間の日程で開催され、関係者の皆様から多大なるご尽力を賜り、成功裏に終了することができました。

財務大臣・中央銀行総裁会議は、首脳会議に際して開催される閣僚会合の中でも特に注目度が高い会議です。ここ新潟において、主要7か国の財務大臣・中央銀行総裁及び国際機関等の代表が一堂に会し、幅広いグローバル経済に関する諸課題について議論し、その成果が共同声明という後世に残る形で発信されたことは、大変意義深いものと考えております。

会議の開催にあたっては、2022年（令和4年）8月の新潟開催決定を受け、同年10月、地元関係機関の皆様と官民一体となった開催支援を目的に、G7新潟財務大臣・中央銀行総裁会議開催推進協議会を設立し、会議が成功するよう「オール新潟」体制で、円滑な会議開催に向けた支援に取り組んできました。

会議期間中は、歓迎レセプションをはじめ、会場展示やプレスセンターでのおもてなし、オプショナルツアーなどを通じ、新潟の産品や伝統芸能などを紹介し、新潟の花きによる装花、多様な新潟食材を活用した料理や地酒の提供を行うなど、各国・国際機関等の代表団や報道関係者といった多くの皆様から新潟の魅力をご堪能いただくとともに、高い評価をいただきました。

会議開催を契機に、MICEの誘致等にさらに積極的に取り組むとともに、官民一体となって国際都市としての充実を図り、交流人口の拡大や経済の活性化につなげていきたいと考えています。

このたび、会議開催に向けた取り組みや会議当日の様子などを当協議会の活動記録としてまとめました。今後の国際会議の誘致や運営などの一助になれば幸いです。

結びに、財務省及び日本銀行をはじめ、関係機関、本協議会の構成団体の皆様、県民・市民の皆様からの多大なるご支援とご協力に対し、心より感謝申し上げます。

COLUMN 01 コラム

G7新潟財務大臣・中央銀行総裁会議とは

G7サミットの概要

G7サミットは、フランス、アメリカ、イギリス、ドイツ、日本、イタリア、カナダ（議長国順）の7か国及び欧州連合（EU）の首脳が参加して毎年開催される国際会議です。

世界経済、地域情勢、様々な地球規模課題を始めとするその時々の国際社会における重要な課題について、自由、民主主義、人権などの基本的価値を共有するG 7各国の首脳が自由闊達な意見交換を行い、その成果を文書にまとめ公表します。

G7サミットでは、各国が持ち回りで議長国を務めます。G7議長国の任期は1月から12月の1年間で、事務レベルの準備会合や関係閣僚会合の開催を通じて、その年のサミット（首脳会議）の準備及び議事進行を行います。

これまで日本は1979年、1986年、1993年、2000年、2008年、2016年の6回の議長国となっています。そして2023年、日本議長下において7回目となるG7サミットが広島において開催されました。

G7新潟財務大臣・中央銀行総裁会議の概要

1973年以来、主要国間で政策協調を行う場として日本、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランスによるG5財務大臣・中央銀行総裁会議が開催されており、例えば、1985年9月のプラザ合意がその代表的な成果として挙げることができます。G7財務大臣・中央銀行総裁会議は、このG5を発展させる形で、サミット参加7か国間でインフレなき経済成長の促進や為替相場の安定等を図るための政策協調の場として、1986年の東京サミットにおいて設立が合意されました。そして、第1回G7財務大臣・中央銀行総裁会議は1986年9月にアメリカのワシントンD.C.で開催されました。

G7新潟財務大臣・中央銀行総裁会議は、広島サミット（5月19日～21日）の関係閣僚会合の1つとして開催されました。会議には、G7の財務大臣及び中央銀行総裁ならびに欧州委員会（EC）委員、欧州中央銀行（ECB）総裁及びユーログループ議長のほか、国際通貨基金（IMF）、世界銀行グループ（WBG）、経済協力開発機構（OECD）及び金融安定理事会（FSB）の長が参加しました。また、今回の会議では、一部のセッションにウクライナのマルチェンコ財務大臣がヴァーチャル形式で参加しました。加えて、ブラジル、コモロ、インド、インドネシア、韓国、シンガポールの6か国のパートナー国との対話も行いました。

広島サミット関係閣僚会合

広島サミットの開催に合わせ、新潟市をはじめ全国16都市で関係閣僚会合が開催となりました。